

検証！民主党政権による社会保障政策のゆくえ

— 長期的ビジョンの必要性を探る —

講演内容

2009年8月30日深夜、民主党の総選挙大勝利によって政権交代が実現した。この劇的な政権交代から約半年が過ぎようとしているが、「コンクリートから人へ」「生活重視型政治」「官僚から政治家主導」「事業仕分け」といった民主党政権の実行プロセスが、日々、マスコミ報道を通じて国民の目に映される。しかし、

現在、その実績を批評する声も出はじめ、徐々に内閣支持率は低下している。そこで、本講演会では、この半年間の民主党政権における社会保障政策の評価を下すこととする。これまで2010年度予算案が閣議決定され、「診療報酬改定」「事業仕分けによる厚労省予算の見直し」「母子加算の復活」

「子ども手当の創設」「後期高齢者医療制度の見直し」「年金記録問題の対応」「介護現場への対策」「雇用政策」など、一定の評価が可能となった時期と考えられるからである。

また、ドイツやスウェーデンといったヨーロッパの現状と比較しながら、日本の社会保障政策のゆくえを探り、民主党政権が取り組まなければならない課題について問題提起していくこととする。



講師プロフィール

淑徳大学准教授

結城 康博氏



1969年生まれ 淑徳大学社会福祉学部卒業

法政大学大学院修士課程修了(経済学修士)、同大学大学院博士課程修了(政治学博士)、地域包括支援センター勤務(社会福祉士・ケアマネジャー・介護福祉士)及び民間居宅介護支援事業所勤務

現在-淑徳大学准教授

専攻-社会保障論、社会福祉学

著書-『福祉社会における医療と政治』(本の泉社)、『医療の値段』(岩波新書)、『介護現場からの検証』(岩波新書)、『介護の値段』(毎日新聞社)など多数

日時 2010年3月13日(土) 15:30~17:00

場所 オークラ千葉ホテル エリーゼ (定員:200名) ※定員になり次第締め切らせていただきます。

参加費 500円(会場代)

講師 淑徳大学准教授 結城 康博氏

●お申し込み・お問い合わせは●●●

一般社団法人 千葉県地方自治研究センター 担当:高橋

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-4 千葉県労働者福祉センター5階

TEL.043-246-0511 Fax.043-246-3918 E-mail:chiba-jk@ubcnet.or.jp

